

# 6月定例会開催

Web版みやぎ県議会だより  
No.134 2020.8.17発行

## —目次—

各項目をクリックするとご覧になりたい  
ページに移動します。

- ・議長からのメッセージ
- ・定例会のあらまし
- ・一般質問
- ・予算特別委員会
- ・常任委員会
- ・宮城県議会新型コロナウイルス  
感染症対策への取り組み
- ・議長記者会見
- ・その他

# さあ、次へ

—Web版みやぎ県議会だより創刊—



## ○議長からのメッセージ

今回、これまで新聞掲載を行っていた「みやぎ県議会だより」をウェブ版として発行する運びとなり、私から一言御挨拶をさせていただきます。

これまで主に新聞掲載を通じて、県議会の活動の普及に取り組んでまいりました。この度のウェブ版では、県議会に興味を持っていた「あなた」との距離が、今より少しでも近づくことができれば…議会の熱意、雰囲気をもより「リアル」にお伝えしたい…そんな思いから作成しております。

これまでと大きく変わった点として、一般質問や予算特別委員会の質疑内容を詳しく掲載し、また、写真を多く盛り込みました。このウェブ版「みやぎ県議会だより」を通して、少しでも議会の様子を感じていただけたら幸いです。

コロナ禍の現在、「新しい生活様式」の模索など、アフターコロナを見据えた変化が起っています。県議会においても、皆様の声に寄り添いながら、より身近な議会を目指し、変化を恐れず、「さあ、次へ」と進んでまいります。

宮城県議会議長

石川 光次郎

👍 クリック!! 👤 議長室  
ページ



# 定例会のあらまし

## ○定例会のあらまし

第373回宮城県議会（6月定例会）は6月15日から7月6日まで、22日間の会期で開かれました。

今定例会では、新型コロナウイルス感染症に関する国の第2次補正予算を受け、執行部から、保健福祉，経済，教育分野を中心とした感染防止対策費等を盛り込んだ補正予算の追加提案がありました。

## ○一般質問のあらまし

一般質問では、新型コロナウイルス感染症対策等について、多くの議員が取り上げ、第2波に備えた医療体制の充実強化や事業者支援などについて、議論が交わされました。

その他、農林水産業や観光の振興、教育分野の諸課題など幅広く議論が交わされたほか、女川原子力発電所第2号機の再稼働関連や県立高校普通教室へのエアコン設置についても取り上げられました。

また、同時に、東日本大震災及び昨年10月の台風19号からの復旧・復興についても議論が交わされました。

⇒一般質問のページは[こちら](#)



## ○県議会及び執行部からの提案

新型コロナウイルス感染症対策の拡充を図る財源確保のため、県議会として、議員報酬及び政務活動費をはじめ議会費において総額約1億円を削減することで各会派において合意に至り、議員報酬及び政務活動費の削減に係る改正条例を可決しました。

また、執行部においても、特別職の給料について削減措置を行うほか、令和2年度当初予算の見直し作業を行い、これらに対応した予算措置について、次期定例会までに整理することとされました。

⇒議会の新型コロナウイルス感染症対策は[こちら](#)

# 知事説明要旨

## ○新型コロナウイルス感染症対策について

本県では、5月26日から7月末までの移行期間において、外出自粛等の制限を段階的に緩和しているところです。このような措置を講じることができたのは、これまで県民が一丸となり、感染拡大防止に取り組んだ成果であり、また、医療従事者をはじめとする関係者の皆様の御尽力の賜物であります。改めて心より感謝申し上げます。



## ○今回の補正予算案について

国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金等を活用し、県内経済の再生に向けた施策に軸足を置いて編成しました。

主な内容は、低迷している観光宿泊需要を喚起するため、旅行商品の造成・割引への助成や民泊を含む小規模宿泊事業者の誘客支援、観光事業者の集客回復に向けた環境整備支援などに要する経費を計上しました。また、先の臨時会で認められた宿泊・飲食事業者等の資金調達を支援する経費を大幅に追加しました。

このほか、県産品の販売支援や需要喚起に要する経費、県産農林水産物の輸出力強化に向けた施設整備への支援、肉用牛の価格急落に直面する畜産農家が行う肥育用子牛導入への支援に要する経費についても計上しました。加えて、県立高校におけるICTを活用した学習環境整備の拡充に要する経費を追加しております。

## ○財政運営について

今後、県税収入等の歳入が大きく落ち込むことが懸念されます。現在、社会情勢の変化に合わせ、事務事業の見直しを行っていますが、震災復興関連の取組など、これ以上先に延ばせない事業も少なくないことから、今後の財政運営に支障が生じないように、国に対し適切な財政支援を要請していきます。

## ○その他の項目

- ・東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会について
- ・観光産業の振興について
- ・景気動向について
- ・震災復興計画の推進と宮城の将来ビジョンの実現に向けた取組状況について
- ・県有施設再編等の在り方について
- ・「みやぎ型管理運営方式」について
- ・東北電力女川原子力発電所2号機について

ほか





# 一般質問

令和2年6月23日～26日  
(4日間)





佐々木功悦議員  
(県民の声)



## 質問 女川原子力発電所第2号機の再稼働に関わる諸課題について

県が発表した原子力災害時避難経路阻害要因調査報告書によれば、これまでPAZ住民は6時間で避難できるとしていたが、現実的な設定をすると56時間もかかり、避難計画は、あまりにも実効性がないことが明らかになった。被ばくすることなく安全に避難できる避難計画ができるまで再稼働への同意はあり得ないと思うがどうか。

## 知事 継続的に検証と改善を図り総合的に判断と回答

避難経路阻害要因調査については、交通負荷を強くかけた場合の避難時間を算出したもので、避難計画を含む「女川地域の緊急時対応」は、国の原子力防災会議において具体的かつ合理的であるとして了承された。今後とも防災訓練などを通じて継続的な検証と改善を図るとともに、住民説明会の開催などを通じ、総合的に判断する。



その他の質問→村井知事の県政運営と県財政について  
新型コロナウイルス感染症対策について

## 質問 疲弊するなりわいの再生について

企業の存続がかかる緊急事態であるにも関わらず、様々な理由から融資されなかった企業に対して、審査や支給基準を緩和し、柔軟な対応を図るべきであったと思うが、そのような検討、協議は行ったのか。

## 知事 柔軟に対応するよう金融機関等に要請と回答

事業者の資金繰りをはじめとした経営維持は喫緊の課題であると認識している。県では貸付条件変更の申込みに柔軟に対応するよう金融機関等に要請している。また、金融庁からも同様の要請がなされている。

新型コロナウイルス感染症に関する県制度融資について、5月末までに申込みのあった3,026件については、融資実行待ちを併せて全て融資実行予定。なお、過去の借入で求償債務が残っている場合などは事前相談の段階で融資対象外となる旨説明している。



その他の質問→教育行政の諸課題について  
児童虐待と子育て支援について



佐々木賢司議員  
(自民)



## 質問 女川原子力発電所第二号機再稼働について

「原子力災害時避難経路阻害要因調査」の結果が女川地域原子力防災協議会に報告されず、避難計画の実効性にも大きな疑問が生じている。今や原子力発電はコストの面でも優れた発電手段とは言えず、全国に先駆けて「再稼働断念」を発信すべき時である。

### 環境生活部長 調査結果等を踏まえた避難計画の見直しを行うと回答 知事 原子力政策の将来像については国において判断されるべきと回答

避難経路阻害要因調査については、課題を抽出したものであり、今後、防災訓練などで抽出された課題も含め、課題を基に調整しながら関係市町の避難計画の改善、見直しにつなげる（環境生活部長）。原子力政策については国策として進められてきた経緯があり、原子力政策の将来像についてはエネルギー政策を所管する国において総合的に判断されるべき問題である（知事）。



その他の質問→新型コロナウイルス感染症対策と保健所・医療機関の整備・支援について  
東京電力福島第一原子力発電所事故による汚染廃棄物・汚染水処理について  
県内におけるソーラー事業の実態と県の認識について



金田もとる議員  
(共産)



福井崇正議員  
(自民)



## 質問 宮城県の観光について

新型コロナウイルス感染症の終息後、知事が風評被害の深刻な作並地域にある宿泊施設に宿泊し、安全宣言を行うとともに、地域の関係者に感謝の意を表明するなど観光PRをして欲しいと考えるがいかがか。

### 知事 作並枠を設けるなど対応する、自身も泊まりに行くと回答

今回、新型コロナウイルス感染症に伴う軽症者等の受入施設として、La楽リゾート・ホテルグリーングリーンにご協力いただくとともに、周辺の作並地区の皆様にもご理解、ご協力をいただいた。改めて感謝を申し上げる。期間終了後に積極的な誘客の支援を行うとともに、観光資源のPRや県民向け旅行商品造成に対する支援の中で、作並枠を設けるなど対応する。私自身も近いうちにLa楽リゾート・ホテルグリーングリーンに泊まりに行く。







遠藤伸幸議員  
(公明)



## 質問 新型コロナウイルス感染症対策について

新型コロナウイルスの感染「第2波」に備え、重症化リスクの高い人が集まる病院や高齢者施設等での集団感染防止対策を強化すべきだ。タブレット端末等を使った「オンライン面会」の普及を後押しするとともに、感染症の専門家らによる「施設内感染対策班」を設置し、各施設に派遣する取り組みを行ってはどうか。

## 知事 施設内感染の防止へオンライン面会の導入を支援、 専門家派遣は他県の事例を研究すると回答

医療機関や高齢者施設には、随時情報提供を行い適切な対策の実施を促している。オンライン面会に使用するタブレット端末等の購入は、施設から要望があり、補正予算案に計上した。集団感染の予防・対応については、現在、有識者の意見も伺いながら保健所が対応している。専門家の派遣については、今後、他県の取り組みを研究したい。



その他の質問→東日本大震災の伝承と風化防止について

## 質問 水産業・水産加工業の振興について

今年度は震災復興期間の最終年度となり、復旧・復興事業が総仕上げに向けて進められている。塩竈市においては平成29年に塩釜魚市場が完成・全面供用が開始されたものの、一部では復旧・復興工事が続いている。震災からの復旧と産業再生を成し遂げるためにも、塩釜漁港の全面的な早期復旧が望まれるが、完成の見通しはどうか。

## 知事 全施設の今年度内の完成に向け全力で取り組むと回答

被災した23施設のうち、19の施設の復旧工事が完成し、供用を開始している。現在、残る4つの施設の復旧工事を進めており、このうち中埠頭東棧橋については年内に完成する見通し。これにより係留施設の復旧は完了する。他の3つの施設についても、進捗管理を徹底し、全施設の今年度内の完成に向け全力で取り組む。



柏佑賢議員  
(自民)



その他の質問→新型コロナウイルス感染症対策について  
社会基盤整備（仙台塩釜港・都市計画道路）について



境恒春議員  
(県民の声)



## 質問 医療従事者が宿泊施設を利用した場合の費用補助について

みやぎ県民の声会派として、知事に新型コロナ対策に係る要請書の手交を行った際、家族への感染の懸念から、医療従事者が宿泊施設を利用した場合の費用補助を提案したところ前向きに検討すると仰っていたが、検討結果について伺いたい。

また、具体的にどの程度の補助を考えているのか伺いたい。

## 知事 経費の補助について補正予算案に盛り込むと回答 保健福祉部長 総額9,500万円を追加提出予定と回答

帰宅することが困難な医療事業者に対し、医療機関があらかじめ宿泊施設を確保した場合において、その経費の補助を行うこととし、補正予算案に盛り込む(知事)。国の補助の基準として日額13,100円、総額9,500万円を追加提出予定である(保健福祉部長)。



その他の質問→気仙沼市と南三陸町の諸課題について  
デジタルファースト宣言について

## 質問 東日本大震災の完遂と地域活性化について

震災伝承施設を運営する人材の育成については、市町村単独では限界があることから、成功した運営手法の紹介など、市町村と連携し、観光振興も視野に入れた施策展開が必要と思うがどうか。

## 知事 震災伝承施設の人材育成支援、環境整備に取り組むと回答

震災の風化が懸念される中、沿岸の市町では震災伝承施設が整備・運営されており、運営を支える人材の育成は重要。県の新しい取組として、民間伝承団体や市町村職員等が参画する研修会を開催し、課題の共有や連携に向けて支援を行う。また、昨年8月に設立された「3.11伝承ロード推進機構」においては、震災伝承施設の広報や伝承ツアーの企画を進めており、県境を越えた交流や地域活性化が期待される。被災自治体等と連携し、人材育成の支援及び環境整備を進める。



その他の質問→第一次産業の振興について/観光振興について  
教育における諸課題について



渡邊重益議員  
(自民)





**渡辺忠悦議員**  
(無所属の会)



## 質問 **地域防災** 及び担い手の環境整備について

令和元年東日本台風により、登米市においても甚大な被害を受けた。登米市津山町は国・県・市の施設等が重複している地域である。今回の台風からの復旧には、国・県・市で構成する協議会で調整を図っているとのことだが、その進行状況は。

### 土木部長 取組方針案を協議会において議論予定と回答

今回の台風では、登米市津山町の南沢川などで大規模な浸水被害を受けたことから、「北上川下流等大規模氾濫時の減災対策協議会」に南沢川の減災対策に特化した検討会を今年1月に設置した。この検討会では6月15日に「台風第19号における南沢川流域の減災に向けた取組方針案」を取りまとめ、6月末にこの方針案を協議会において議論する予定である。



その他の質問→「みやぎ型管理運営方式」について  
県有施設等の再編について

## 質問 **農業振興** について

高齢化や担い手不足などの諸課題を解決し、持続可能な農業農村を構築していくため、稲作依存から脱却し、多様性のある農業への政策転換が必要と考えるがどうか。また、国に対して、国際社会で認知されている家族農業を重視する活動計画の策定や政策の展開を働きかけていくべきと考えるがどうか。

### 農政部長 付加価値の高い農業経営や家族経営体が重要と回答

大規模な農業経営だけでなく、小規模でも付加価値の高い農業経営を含めて多様な農業を展開することが重要であり、土地収益性の高い園芸や畜産をさらに振興していく。また家族経営体についても、次期「第3期みやぎ食と農の県民条例基本計画」の柱として検討しており、この考え方に即した政策展開を図るよう、国に働きかける。



その他の質問→林業振興について/商工振興について/観光戦略について  
地域医療政策について/水道事業広域連携について  
道路整備について/河川整備について



**伊藤吉浩議員**  
(自民)





渡辺勝幸議員  
(自民)



## 質問 県立高校のエアコン設置等教育の諸課題について

本県の県立高校のエアコン設置率は、全国平均を大きく下回り、北海道、青森に次ぐ全国ワースト3位である。将来的な生徒の減少や高校再編を踏まえながらも、県立高校の普通教室へのエアコン設置を段階的に進めていくべきと思うが所見はどうか。

## 知事 一律の整備は困難、新校舎の建設の際に整備と回答

エアコンの整備については、国の補助制度を活用し整備を進めてきた。県立高校普通教室に整備するためには多額の予算が必要で、国の支援がない中、現時点では一律に整備することは困難。国に対して支援を要望するとともに、今後は新校舎の建設などに併せて整備を進めたい。



その他の質問→アフターコロナの宮城県政について  
新型コロナウイルス感染症拡大防止対策について

## 質問 宮城県立国際高等学校の開設構想について

県立高校の再編が進行中であるが、数校を1校にという圏域人口がそのまま連動した整理ではなく、AI国際情報や国際観光ビジネスを柱とした学科の充実と、外国籍や帰国子女枠を設けた国際理解教育の拠点校となる新しいタイプの宮城県立国際高等学校の開設を提案する。所見を伺う。

## 知事 国際バカロレア認定校を目指す二華高に注力すると回答 教育長 国際教育充実に向け学校配置のあり方と併せて検討と回答

国際舞台で活躍できる人材の育成は非常に重要。現在、仙台二華高が国際バカロレア認定校を目指すなど取組が進んでおり、これに注力していく（知事）。多様化する社会的ニーズを踏まえ、新学科設置や教育内容充実、学校再編統合など、魅力ある学校づくりに取り組んできた。国際教育充実に向け、学校配置のあり方と併せて検討する（教育長）。



その他の質問→改正漁業法の水産業に及ぼす影響と振興策について  
コロナ禍における地域小規模事業者の経営改善を担う商工会などの支援機関との連携強化について



佐藤仁一議員  
(県民の声)





わたなべ拓議員  
(自民)

議員名簿  
クリック!!

## 質問 県立高校普通教室へのエアコン整備について

本年は、7月末に授業を実施するほか、夏期休暇中も課外授業などで平日の80%は普通教室を使用している。昨年8月は、28℃以上の熱中症「嚴重警戒」日は55%あった。山形県、秋田県、岩手県南全校にエアコン整備されるが、本県も普通教室にエアコンを設置すべきと考えるが。

### 教育長 熱中症対策をしっかりと行っていくことが必要と回答 知事 一律の整備は困難、新校舎の建設の際に整備と回答

学校環境衛生基準に基づく相対湿度の定期検査はおおむね基準内となっているが、熱中症対策をしっかりと行っていくことが必要(教育長)。エアコンを普通教室に整備するためには多額の予算が必要で、国の支援がない中、現時点では一律に整備することは困難。国に対して支援を要望するとともに、今後は新校舎の建設などに併せて整備を進めたい(知事)。

録画  
クリック!!

その他の質問→宮城県美術館の現地存続について/東北メディカル・メガバンク計画への支援・協力について  
歯科医師業界への支援、県庁対応部門創設について/就職氷河期世代の県庁採用について  
フリースクール支援について/サプライチェーン対策について/香港市民に対する人権侵害について

## 質問 県立高校へのエアコン設置と熱中症等への対策について

生徒たちからの切実な声に応えるためにも、保護者の負担を当てにせず、県の責任で県立高校の普通教室にエアコンを設置すべきと思うがどうか。また、熱中症や食中毒対策のため、猛暑日が想定される場合は休校とするなどの対応が必要と考えるがどうか。

### 知事 一律の整備は困難、新校舎の建設の際に整備と回答 教育長 暑さ指数に応じて時間数の変更など柔軟に対応と回答

エアコンを普通教室に整備するためには多額の予算が必要で、国の支援がない中、現時点では一律に整備することは困難。国に対して支援を要望するとともに、今後は新校舎の建設などに併せて整備を進めたい(知事)。指導内容の圧縮・重点化などの工夫の上、長期休業期間の短縮等を予定している。健康保持のため、適切な熱中症予防対策を講じるとともに、暑さ指数等に応じて授業時間の変更を行うなど柔軟に対応する(教育長)。



福島かずえ議員  
(共産)

議員名簿  
クリック!!

録画  
クリック!!

その他の質問→コロナ危機から暮らしと営業、雇用、住まいを守る支援策  
コロナ危機のなかでの水道・下水道事業「民営化」の中止を  
東日本台風によって明らかになった問題点の解決



深谷晃祐議員  
(自民)



## 質問 アフターコロナの県政運営について

経済団体への採用枠の維持・拡大要請のほか、マッチング支援や新たな採用方法への対応支援等が必要であり、地方創生臨時交付金の活用も視野に、新卒者の不安解消に向けた取組と人材確保・雇用維持について、全県での取組を求めるがどうか。

### 経済商工観光部長 オンライン企業見学会やウェブ形式セミナー等を開催と回答

新型コロナウイルス感染症による経済情勢の悪化により、新卒者の不安は大きく、これまで以上のきめ細やかな支援が必要。「産業人材育成プラットフォーム」において、各圏域で、オンライン企業見学会や企業PR動画を作成するとともに、県による関係機関の動画サイトリンク集の掲載などマッチング支援に取り組む。また、地方創生臨時交付金等を活用し、新卒者や内定を取り消された大学生等を対象としたウェブ形式セミナーや合同企業説明会の開催、オンライン採用支援のセミナーなどを実施する。



## 質問 新型コロナウイルス感染症拡大防止協力金について

緊急事態措置期間に、休業などの要請に協力した中小の事業者には、県・市町村あわせて1事業者当たり30万円を、また市町村によってはそれに上乗せして支給されたが、今回対象とならなかった業種などについて何らかの手当てを検討すべきと考えるがどうか。

### 経済商工観光部長 市町村と連携し、支援策を早急に検討していくと回答

協力金の支給対象外の事業者を含め、多くの事業者が今なお大変な状況にあると認識している。地域の実情を把握し、事業者のニーズに応じた施策を展開している市町村としっかり連携しながら、事業者に対する効果的な支援策を早急に検討していく。



中山耕一議員  
(自民)



その他の質問→不登校の中学生の高等学校受験について  
洪水対策のためのダムの前放流について  
富谷・黒川地域の道路整備について





# 予算特別委員会

総括質疑 令和2年6月30日





**中島源陽委員**  
(自民)



## 質 疑 **子どもたち**を支える予算について

学校に学習指導員を配置するとのことだが、今回の事態で、不登校児童やフリースクール等へ通う生徒にも、学校に通学する児童と同じように負荷がかかると思われるが、学習指導員による不登校児童等への人的支援について、前例にとらわれることなく幅広く検討すべきと思うがどうか。

### 教育長 **学習指導員は不登校児童等の学習支援に活用可能と回答**

国の補正予算を活用した学習指導員は、国から示された要綱によれば、学校教育活動の一環として「学校」に配置するとされているが、学校に配置した学習指導員を、フリースクール等に通う児童等を含めた、不登校児童の学習支援に活用することは可能と考える。設置者となる市町村教育委員会に検討を促す。



その他の質疑 補正予算と県の体制について  
観光関連予算について  
農業関連予算について

## 質 疑 **議会費削減**額充当予定事業について

議会費を削減することにより捻出した1億円を充当予定の、医療従事者支援金と観光・宿泊・飲食事業者クラウドファンディング（CF）活用促進費について、事業概要と議会費削減額の充当額についてどうか。

### 知 事 **約2,748万円を医療従事者支援金に、6,097万円をCF活用促進費に充当と回答**

医療従事者支援金は、検体採取などを行った医療従事者に対して、日額2千円、感染患者の治療にあたった医療従事者に対して日額4千円を支払うもの。事業費総額6,748万8千円のうち、議会費を2,748万8千円、残額は新型コロナウイルス感染症対策寄付金で充当予定。クラウドファンディング活用促進費については、返品品の利用券2割増分及びファンド決済手数料5%等を補助するもの。総額1億8,870万9千円のうち、議会費を6,097万円充当予定。



その他の質疑 「新しい生活様式」への支援について  
感染症対策強化、防止対策について



**庄田圭佑委員**  
(自民)





## 質 疑 県立学校熱中症対策費について

熱中症対策費にエアコン設置費は含んでいないとのことだが、エアコンはリースも可能で、費用も低額である。子ども達目線言えばエアコンは優先されるべき重要課題である。エアコンの設置を検討していただきたい。

## 知 事 今夏設置は難しい状況、扇風機と冷水機で対応と回答

小・中学校でも全部設置ができないところもある中、物があっても設置業者が確保できず、今夏設置は難しい状況。リースにおいても同様の問題があり、また、試算によればリース期間全体における総支払額は購入金額よりも高額になってしまう。そのような事情から今回は扇風機と冷水機での対応となる。



録画

その他の質疑 医療提供体制と感染拡大防止策の強化について



三浦ななみ委員  
(県民の声)



クリック!!

議員  
名簿



柘和也委員  
(県民の声)



議員  
名簿

## 質 疑 生活・雇用の維持と事業の継続について

正社員雇用奨励金について、コロナ解雇が今後増えてくると思われるが、対象人員の想定はどうか。また雇用しなければならない期間の定めはあるのか。農業等との就労マッチング支援や行政による緊急雇用対策等検討すべきと思うがどうか。

## 経済商工観光部長 正社員雇用奨励金は300人分を想定、計上と回答 知 事 色々な業種でマッチングするよう努めると回答

正社員雇用奨励金については、コロナで解雇、内定を取り消し等された方の再就職支援のため、今回の補正予算では300人分を想定、計上している。雇用期間については「期間の定めのない」正社員としての雇用が条件（経済商工観光部長）。色々な業種で（就労）マッチングすることは重要。縦割りにならず調整に努めていく（知事）。



録画

その他の質疑 経済活動の回復と強靱な経済構造の構築について  
感染拡大防止策の強化と事業の継続について



天下みゆき委員  
(共産)



## 質疑 医療提供体制と感染拡大防止策について

医療従事者等慰労金について、支給対象となる職員は医療機関で働く全ての職員を対象とし、調剤薬局の職員も対象とすべきと思うがどうか。また、医療機関の経営難は深刻であり、国に減収分の補填をするよう知事会等で強く求めているがどうか。

### 保健福祉部長 支給対象拡大及び財政的な支援を国に働きかけると回答

慰労金については患者との接触が伴いかつ継続して提供することが必要な業務の従事者が対象であり、具体的な職種や業務については国に確認中。薬局については一定の介護サービスを提供した薬剤師等が対象となる。県としてはできる限り広い支給対象となるよう国に働きかける。医療機関の財政的な支援についてはこれまでも全国知事会を通じて要望してきたが、今後も引き続き要望していく。



その他の質疑 雇用の維持と事業の継続について  
二次交通事業者への支援について

## 質疑 社会福祉施設等感染症対策費について

多機能型簡易居室について、既存建物内への設置やコンテナハウスによる新設などが考えられるが、どのような形態を基準とするのか。補助上限額や設置基準、想定対象数はどのように考えているのか。

### 保健福祉部長 580事業所でプレハブの設置などを想定と回答

国の要綱では、補助対象となる形態の基準は明らかになっていないが、県としては屋外に設置するプレハブを想定している。補助上限額は、高齢者入所施設等では定員1人当たり3万8千円、通所介護事業所等では1事業所当たり89万2千円、障害者入所・居住施設では1事業所当たり300万円となっている。設置基準については現在、示されていない。想定対象数は、3,900ある高齢者施設のうち1割の420事業所、300ある障害者入所・居住施設のうち半数の160事業所を想定、計上している。



伊藤和博委員  
(公明)



## 質疑 肉用牛肥育経営安定交付金（牛マルキン）制度について

コロナ禍で肥育牛の価格が大幅に下がり、牛マルキン制度が発動される一方、宮城県においては1頭6千円だった生産者負担金が6万8千円に、大幅に値上げされている。大幅な値上げは肥育経営に大きな負担となり、宮城の畜産、仙台牛の存亡につながる。生産者負担金を引き下げることができないのか。

### 農政部長 生産者負担金について丁寧に説明していくと回答

牛マルキン制度は販売価格と生産コストの差額の9割に相当する額を国費で3/4、生産者負担金で1/4負担するという制度であり、毎年度生産者負担金の額を決めるもの。新型コロナウイルス感染症の影響で交付額が大きくなり、それに応じて生産者負担金も増えている。今後とも農家の方に丁寧に説明していく。



熊谷義彦委員  
(社民)



菅間進委員  
(無所属の会)



## 質疑 観光分野対応予算について

感染軽症者療養施設を受け入れた作並温泉への「特別枠」をもうけるとの答弁があったが、どの程度の枠なのか。また、「特別枠」以外の経済活性化支援を考えているのか。作並については一定期間の期間、継続的な支援が求められると思うが、所見はどうか。

### 経済商工観光部長 「作並枠」として3,600人泊分を確保と回答

県内の宿泊割引キャンペーンの内、3,600人泊分を作並枠として別枠で確保した。また、全県を対象として、旅館組合や観光協会などの任意団体が、地元事業者と連携して実施する回復策や感染症対策にも補助する予定。また、一般社団法人日本旅行業協会東北支部との借り上げ契約において、作並地区に対する積極的な誘客を盛り込んだ。今後、来年開催される東北デスティネーションキャンペーンに向けて、仙台市とも連携し、効果的に情報発信し、継続的に支援していく。





吉川寛康委員  
(21世紀ク)



## 質疑 遠隔教育支援体制整備費について

仮想空間と現実空間を高度に融合させたシステムにより実現する社会（Society 5.0）を目指し、GIGAスクール構想に関する文部科学大臣メッセージが示されている。今回の補正での県立学校端末の充足率と端末1人1台化の実現の見通しについて所見はどうか。

### 教育長 小・中学校では今年度中に整備、 高等学校の整備は国に支援を求めていくと回答

県内小・中学校においては、国の補正予算におけるGIGAスクール構想の加速化により、今年度中にほとんどの市町村で1人1台端末を整備する。高等学校についてはGIGAスクール構想1人1台端末の対象外であり、現在のところ国の見通しは示されていないが、県として国に支援を求めていく。



その他の質疑 県産品インターネット等販売支援費について

## 質疑 経済活動の回復に向けた対策について

今回の補正予算で県内経済の底上げはどの程度まで進められるのか。また、今後の感染症対策に係る予算編成の予定はどうか。

### 知事 追加予算について7月臨時会で提案すると回答

7月に臨時議会を開き補正予算を組んでいきたいと考えており、しっかり対応していく。県だけで引っ張っていくのは難しいため、押しつけるのではなく一緒にやっということで、市町村とも協議、調整を行っている。特に、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の活用について市町村と調整中であり、追加予算については7月に招集予定の臨時議会で提案予定である。



その他の質疑 感染拡大防止対策について



高橋啓委員  
(緑風会)



# 常任委員会

令和2年7月2日に常任委員会が開かれ、各委員会で議案等について審議が行われました。

委員長 村上智行  
副委員長 庄田圭佑  
委員 坂下賢, 小畑きみ子, 天下みゆき  
高橋啓, 八島利美, 菊地恵一  
佐々木喜藏, 畠山和純

## 総務企画委員会の活動概要

- 議案審査
    - ・自転車安全利用条例
    - ・家畜伝染病予防法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例（関係分） など 7件
  - 陳情送付
    - ・自衛隊の自然災害に対する災害対応能力の向上を求める意見書を国に提出する事について
- ⇒その他の詳細については[こちら](#)

## 環境福祉委員会の活動概要

- 議案審査
    - ・医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例
    - ・財産の取得について（抗インフルエンザウイルス薬（イナビル吸入粉末剤20ミリグラム備蓄用）7万60人分（14万120容器））
  - 陳情送付
    - ・こどもたちの食を守る手立てについて
- ⇒その他の詳細については[こちら](#)

委員長 渡辺勝幸  
副委員長 遠藤伸幸  
委員 佐々木功悦, 金田もとる, 熊谷義彦  
吉川寛康, 渡邊重益, 高橋伸二  
中山耕一, 安藤俊威



## 経済商工観光委員会の活動概要

### ○議案審査

- ・職業能力開発校条例の一部を改正する条例
- ⇒その他の詳細については[こちら](#)

委員長 遠藤隼人  
副委員長 村上久仁  
委員 枅和也, 三浦一敏, 庄子賢一, わたなべ拓  
櫻井正人, 外崎浩子, 藤倉知格



## 農林水産委員会の活動概要

### ○議案審査

- ・家畜伝染病予防法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例（関係分）
- ・農業大学校条例の一部を改正する条例
- ・国営土地改良事業負担金等徴収条例の一部を改正する条例

### ○陳情送付

- ・こどもたちの食を守る手立てについて
- ⇒その他の詳細については[こちら](#)

委員長 横山隆光  
副委員長 守屋守武  
委員 太田稔郎, 石田一也, 渡辺忠悦  
伊藤和博, 伊藤吉浩  
石川光次郎, 仁田和廣



委員長 深谷晃祐  
副委員長 高橋宗也  
委員 ゆさみゆき, 佐藤仁一, 福島かずえ  
岸田清実, 横山のぼる, 柏佑賢  
中島源陽, 齋藤正美

## 建設企業委員会の活動概要

### ○議案審査

- ・手数料条例の一部を改正する条例（関係分）
  - ・建設業法施行条例の一部を改正する条例
  - ・訴えの提起について
  - ・工事請負契約の締結について（荒川護岸等改良工事）
- ⇒その他の詳細については[こちら](#)



## 文教警察委員会の活動概要

### ○議案審査

- ・県立学校条例の一部を改正する条例
- ・財産の取得について（情報通信機器（タブレット端末等）一式）
- ・工事請負契約の締結について（海洋総合実習船建造工事）

### ○請願審査

- ・小中学校全学年での35人以下学級の実現及び特別支援学校の過大・過密解消等と子どもの貧困対策を求めることについて など2件

⇒その他の詳細については[こちら](#)

委員長 佐々木賢司  
副委員長 佐々木幸士  
委員 境恒春, 三浦ななみ, 大内真理  
菅間進, 福井崇正, 瀬戸健治郎  
本木忠一, 中沢幸男

心ひとつに コロナ感染症に打ち克とう 宮城県議会

### ○対策本部の設置

当議会では、新型コロナウイルス感染症に関し、県議会の役割を踏まえ、迅速かつ的確に対応するため、4月21日に「宮城県議会新型コロナウイルス感染症対策本部」を設置しました。

### ○横断幕の設置

また、本県における新型コロナウイルス感染症対策を県民とともに推進するため、5月20日より、議会庁舎西側外壁に「心ひとつに コロナ感染症に打ち克とう」のメッセージを記した横断幕を設置しました。

心ひとつに  
—新型コロナウイルス  
感染症対策への取り組み—



## ○議員報酬等の議会費を約1億円削減

新型コロナウイルス感染症対策の拡充を図る財源確保を目的とし、県議会として、議員報酬及び政務活動費をはじめ議会費において総額約1億円を削減することで各会派において合意に至り、議員報酬及び政務活動費の削減について、今議会で改正条例を可決しました。



## ○「三つの密」を避けて

議会での新型コロナウイルス感染症対策については、議長席、演壇、対面演壇へのアクリル板の設置、委員会開催時の換気や手指消毒を実施するとともに、一般質問及び予算特別委員会においては、議員の途中離席を認め、離席した議員は会派控室で庁内テレビ放送又はインターネット中継を視聴することとするなどし、いわゆる「三つの密」を避け、議会運営を行いました。

# 議長記者会見

(抜粋)

## ―六月定例会を振り返って―

### ○はじめに

まず初めに、新型コロナウイルス感染症により御亡くなりになられた方々の御冥福をお祈りいたしますとともに、罹患された皆さまの一日も早い快復をお祈り申し上げます。

また、最前線に対応されている医療及び福祉、教育従事者の皆さまをはじめ、関係者の皆さまの御尽力に、心より敬意を表します。

### ○六月定例会を振り返って

さて、先般、六月定例会が開催され、新型コロナウイルス感染症対策費等を盛り込んだ補正予算

について、多様な議論が交わされ

ました。一般質問では、新型コロナウイルス感染症対策等について、多くの議員が取り上げ、第2波に備えた医療体制の充実強化や事業者支援などについて、議論が交わされました。

その他、農林水産業や観光の振興、教育分野の諸課題など幅広く議論が交わされたほか、女川原子力発電所第2号機の再稼働関連や県立高校普通教室へのエアコン設置についても取り上げられました。

また、同時に、東日本大震災及び昨年10月の台風19号からの復旧・復興についても議論が交わされました。

### ○議会の感染症対策

当議会では、新型コロナウイルス感染症に関し、4月21日に感染症対策本部を設置しました。また、議会庁舎に横断幕を設置しているところであります。

一般質問等では、議員の途中離席を認め、いわゆる「三つの密」を避け、議会運営を行いました。

また、県議会として、議員報酬等を総額約1億円を削減し、新型



副議長 齋藤正美



議長 石川光次郎

### ○終息へ向け全力で

日本国内各地で、新型コロナウイルスの感染は続いており、一旦終息しかけたかに見えた県内においても、再び感染が確認されるなど、終息を見通すことが難しい状況が続いております。

県議会といたしましては、新型コロナウイルス感染症終息に向けて引き続き全力で取り組んでまいりたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

## 議決した議案等

### (1) 発 議 2件

「県議会議員の議員報酬等に関する条例の一部を改正する条例」

「宮城県議会における政務活動費の交付に関する条例の一部を改正する条例」

### (2) 意 見 書 2件

「台湾の世界保健機関(WHO)への参加を求める意見書」

「社会資本の整備促進を求める意見書」

### (3) 知事提出議案 24件 同意 2件

「令和2年度宮城県一般会計補正予算」

「知事等の給与の特例に関する条例」

「自転車安全利用条例」

「家畜伝染病予防法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例」

「職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例」

「手数料条例の一部を改正する条例」

「宮城県県税条例の一部を改正する条例」 など

## 県議会からのお知らせ

### ●ラウンジコンサート

本年度のラウンジコンサートは新型コロナウイルス感染症対策のため、中止とさせていただきます。再開は来年度6月定例会を予定しています。

### ●新型コロナウイルスの感染防止について

傍聴される皆様におかれましては、検温や手指の消毒に御協力いただきますとともに、マスクを着用するなど、新型コロナウイルスの感染防止に御配慮くださるようお願いいたします。

なお、発熱や咳などの症状のある方、体調不良の方の傍聴は、お控えいただきますよう御理解をお願いいたします。

※ 本会議場の傍聴に当たりましては、間隔を保った座席利用に御協力いただいておりますので御理解願います。

なお、傍聴者が18名を超えた場合は、モニターでの傍聴（5階傍聴者ロビー又は1階ラウンジ）となりますので、あらかじめ御了承願います。

▽お問い合わせ先 宮城県議会事務局総務課  
TEL 022(211)3571

### ●ホームページのご案内

定例会の日程や会議録等をご覧いただけます。



宮城県議会 検索



### ●議会中継のご案内

スマートフォンやタブレット端末でも議会中継・録画をご覧いただけます。



宮城県議会 中継 検索



### Web版みやぎ県議会だよりへのご意見・ご感想をお寄せください

宮城県議会事務局政務調査課

〒980-8570 仙台市青葉区本町3丁目8番1号

TEL 022(211)3592 FAX 022(211)3598

Eメール [gtynosas@pref.miyagi.lg.jp](mailto:gtynosas@pref.miyagi.lg.jp)